

第6回平方北小学校再編検討協議会

前回の協議内容の振り返り

【再編による課題の検討内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・ 平方北小学校の児童が他校へ編入する
- ・ 平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

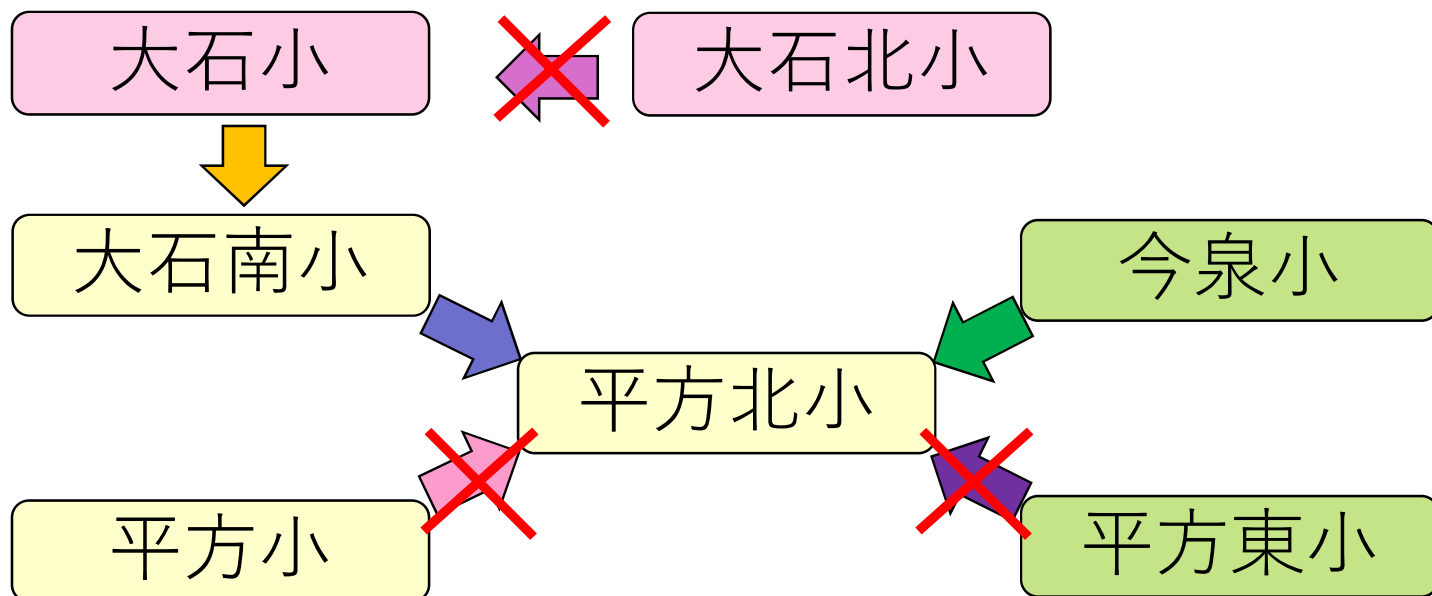
③協議「いつ編入とするか」

平方北小学校の児童が他校へ編入する場合 の主なご意見

- ・ 全員で同じ学校へ編入する
- ・ 家から近い学校を選択して編入する
- ・ 在校生のみ同じ学校へ編入する

○平方北小学校の通学区域を拡大し、
周辺の学校へ通学している児童を編入させる

第4回資料



※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

5

「②通学距離が延びた際の通学方法」 の主なご意見

- ・ 近年の暑さからもバスが必要
- ・ 低学年が通うことも考えるとバスが必要

6

徒歩による通学距離上限について（学年別） R4アンケート

	1.0km以内	1.5km以内	2.0km以内	2.5km以内	3.0km以内	その他	総数
1年生	431 49.5%	336 38.6%	89 10.2%	6 0.7%	2 0.2%	7 0.8%	871
2年生	438 49.3%	365 41.1%	68 7.6%	6 0.7%	4 0.4%	8 0.9%	889
3年生	353 45.8%	307 39.9%	90 11.7%	8 1.0%	3 0.4%	9 1.2%	770
4年生	338 47.7%	262 37.0%	87 12.3%	9 1.3%	2 0.3%	11 1.6%	709
5年生	321 46.7%	270 39.3%	80 11.6%	6 0.9%	3 0.4%	7 1.0%	687
6年生	293 43.7%	282 42.1%	76 11.3%	7 1.0%	1 0.1%	11 1.6%	670

7

【第6回 協議会の内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・平方北小学校の児童が他校へ編入する

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

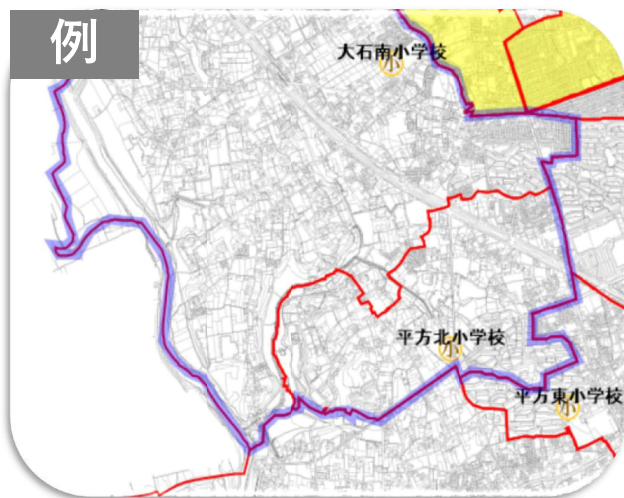
③協議「いつ編入とするか」

8

平方北小学校の児童が他校へ編入する場合

平方北小の学区を分けずに他校へ移す

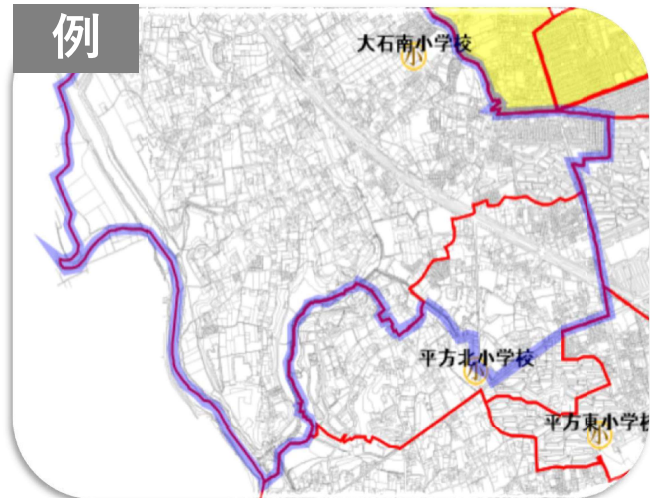
例



A 案 通学区域を分けない場合

平方北小の学区を分けて他校へ移す

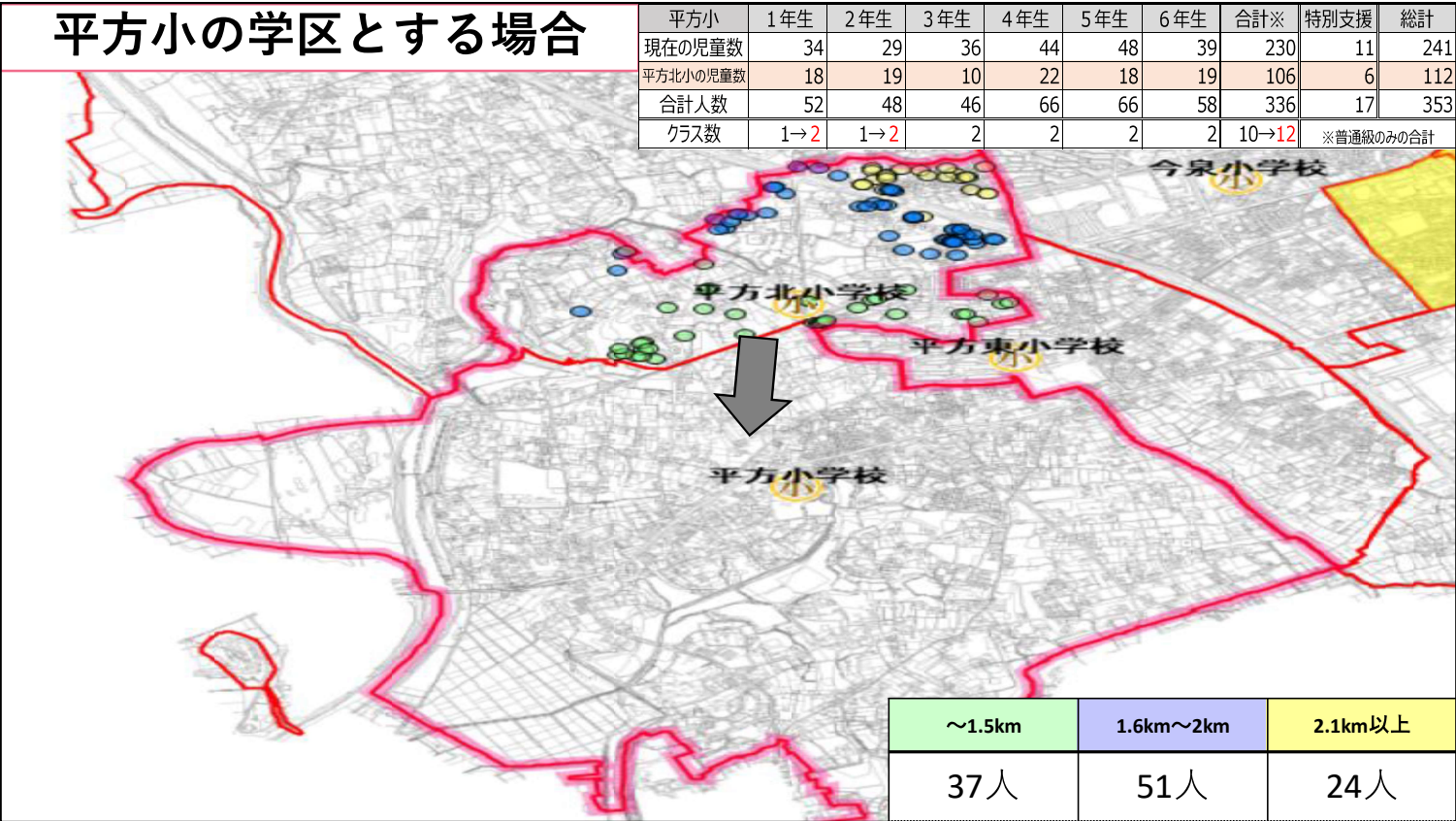
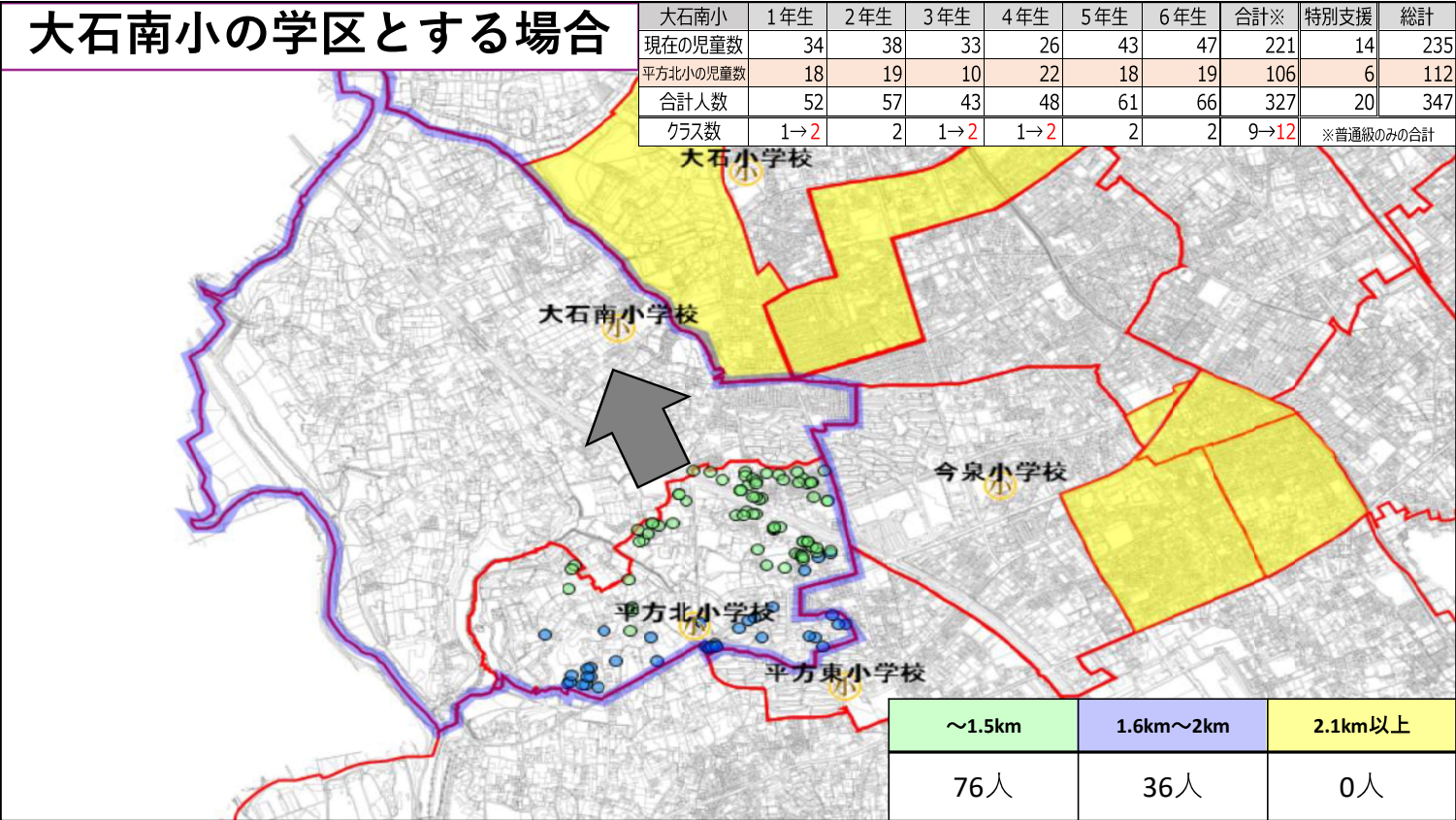
例

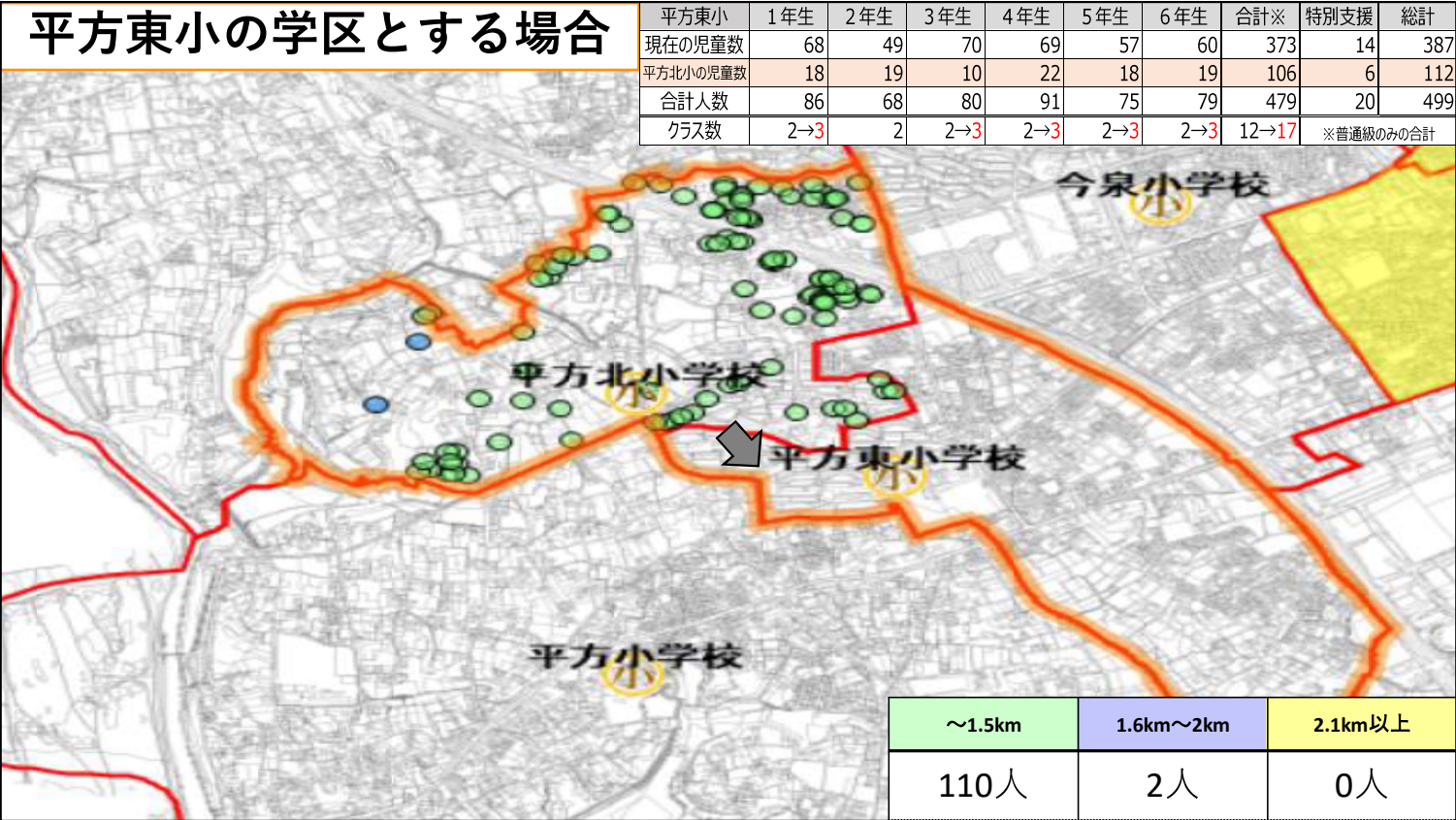


B 案 通学区域を分ける場合

A 案 通学区域を分けない場合







A 案 通学区域を分けない場合

上段：児童数
下段：学級数

R7.5.1時点児童数

※特別支援を除く

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	特別支援	総計
平方小	34	29	36	44	48	39	230	11	241
	1	1	2	2	2	2	10	2	12
大石南小	34	38	33	26	43	47	221	14	235
	1	2	1	1	2	2	9	2	11
平方東小	68	49	70	69	57	60	373	14	387
	2	2	2	2	2	2	12	3	15
今泉小	99	97	119	89	94	99	597	21	618
	3	3	4	3	3	3	19	4	23
平方北小	18	19	10	22	18	19	106	6	112
	1	1	1	1	1	1	6	2	8

平方北小の児童が全員で編入した場合

※特別支援を除く

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	増加数	受け入れ
平方小	52	48	46	66	66	58	336	106	○
	2	2	2	2	2	2	12	2	
大石南小	52	57	43	48	61	66	327	106	○
	2	2	2	2	2	2	12	3	
平方東小	86	68	80	91	75	79	479	106	○
	3	2	3	3	3	3	17	5	
今泉小	117	116	129	111	112	118	703	106	×
	4	4	4	4	4	4	24	5	

A 案 通学区域を分けない場合

平方北小児童の各学校までの距離（R7年度在校生）

	通学距離 (平均)	通学距離 (最大)	～1.5km	1.6km～2km	2.1km以上
平方北小	約720m	1.2km	112人	0人	0人
平方東小	約1.0km	1.6km	110人	2人	0人
大石南小	約1.4km	2.0km	76人	36人	0人
今泉小	約1.3km	2.2km	83人	25人	4人
平方小	約1.7km	2.3km	37人	51人	24人

A 案 通学区域を分けない場合

メリット

- ・友達と同じ学校へ通い続けることができる。(在校生)
- ・平方小もしくは大石南小は適正規模(12～18学級)となる。
- ・平方東小と再編した場合は、通学距離が長くなる児童が少ない。

懸念点

- ・今泉小と再編した場合は、教室の確保に課題がある。
- ・平方東小と再編した場合、平方小、大石南小は小規模校(6～11学級)のままとなる。
- ・平方東小を除き通学距離が長くなる児童が多い。

17

協議の内容

A 案 通学区域を分けない場合

【協議していただきたい内容】

再編手法における課題・懸案事項「①どこへ編入とするか」「②通学距離が延びた際の通学方法」

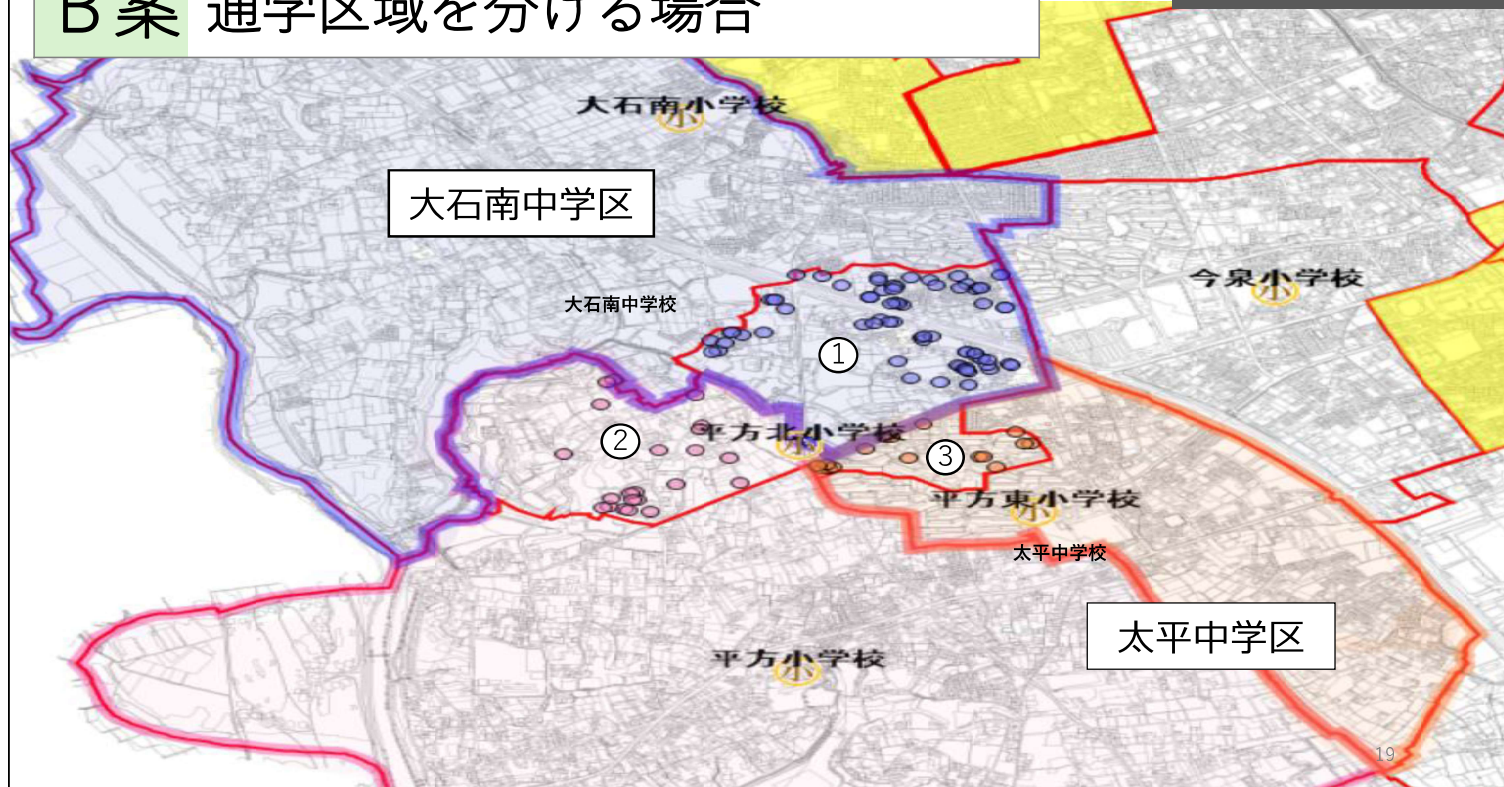
【頂いた意見の概要】

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

18

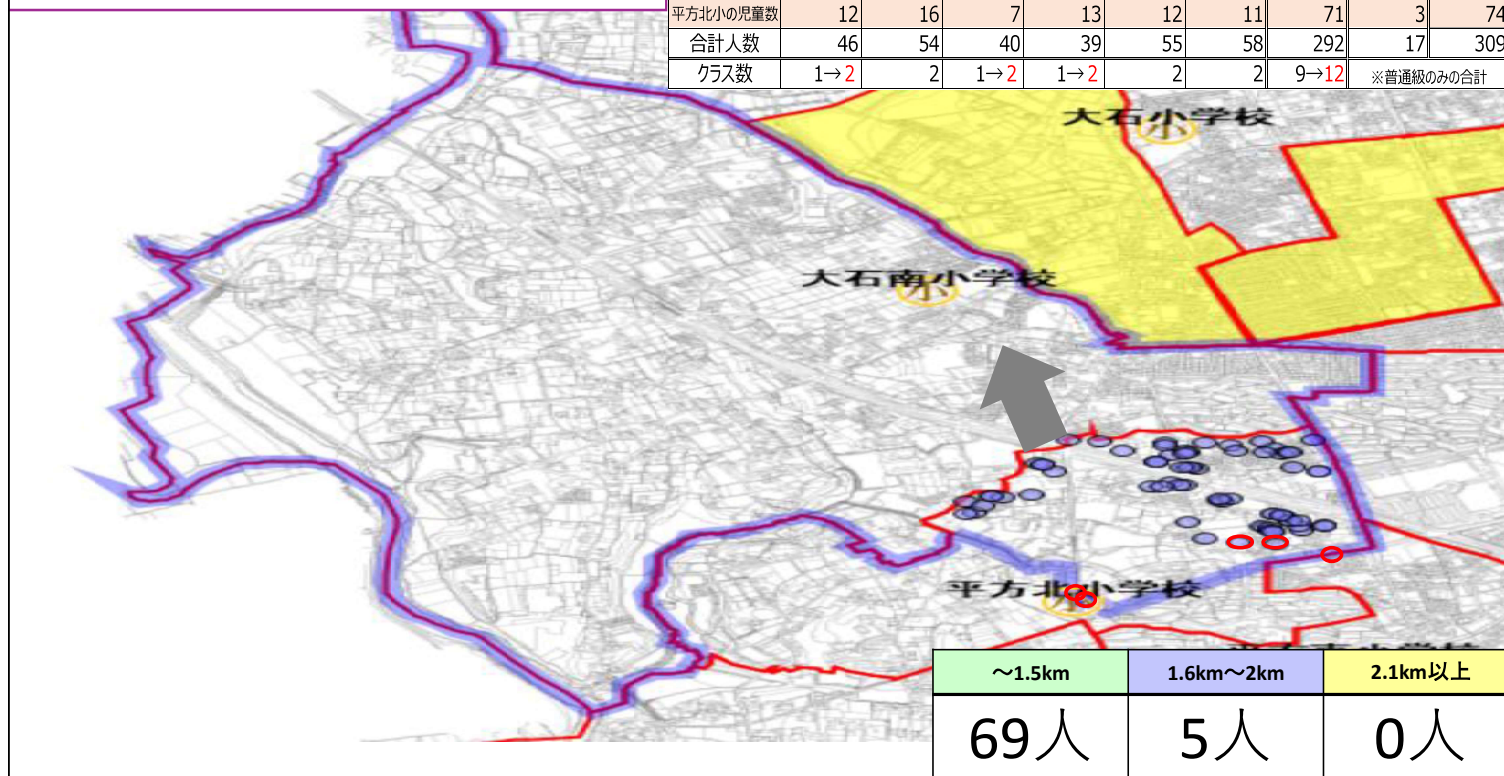
B 案 通学区域を分ける場合

事務局案



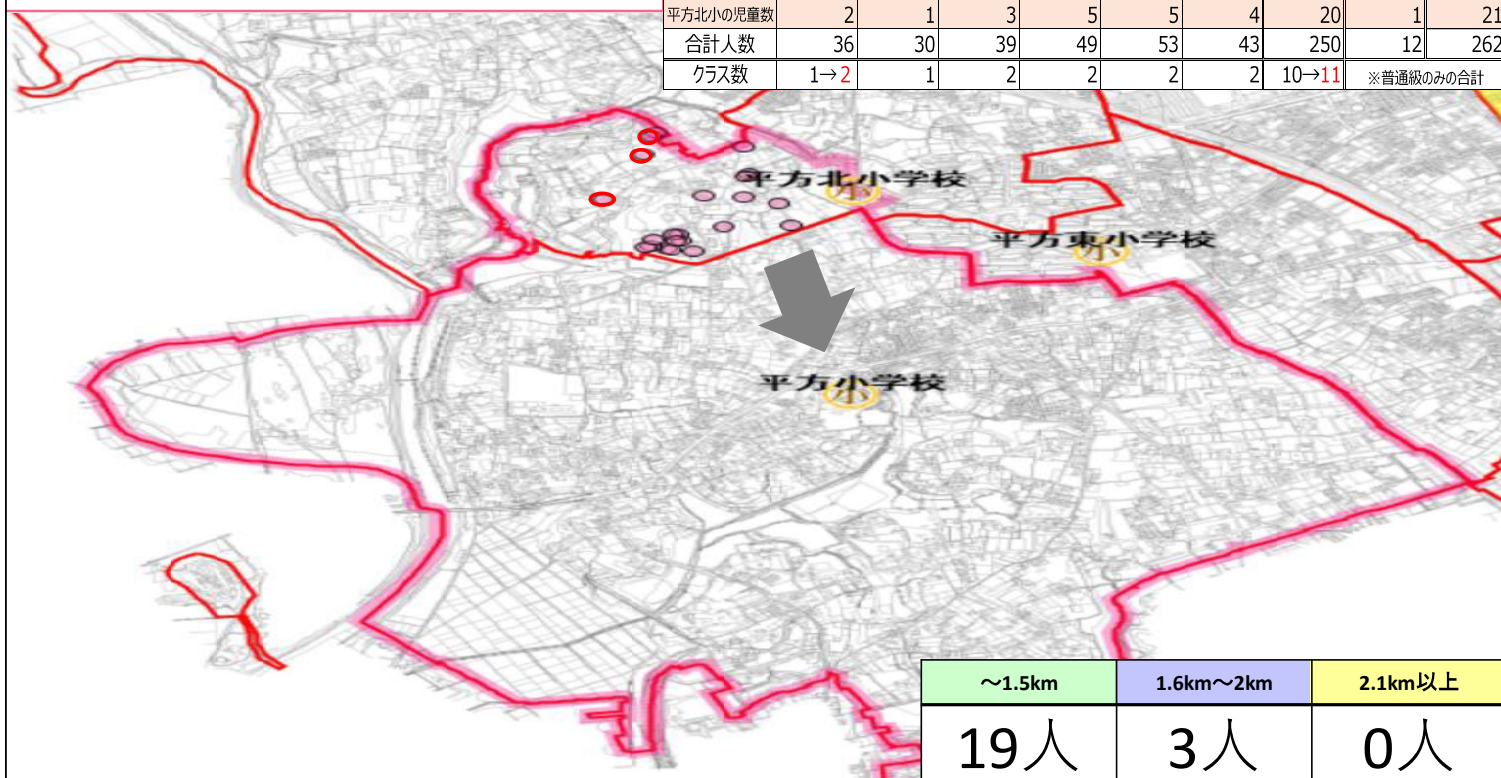
大石南小の学区となる児童

大石南小	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	特別支援	総計
現在の児童数	34	38	33	26	43	47	221	14	235
平方北小の児童数	12	16	7	13	12	11	71	3	74
合計人数	46	54	40	39	55	58	292	17	309
クラス数	1→2	2	1→2	1→2	2	2	9→12	※普通級のみ合計	



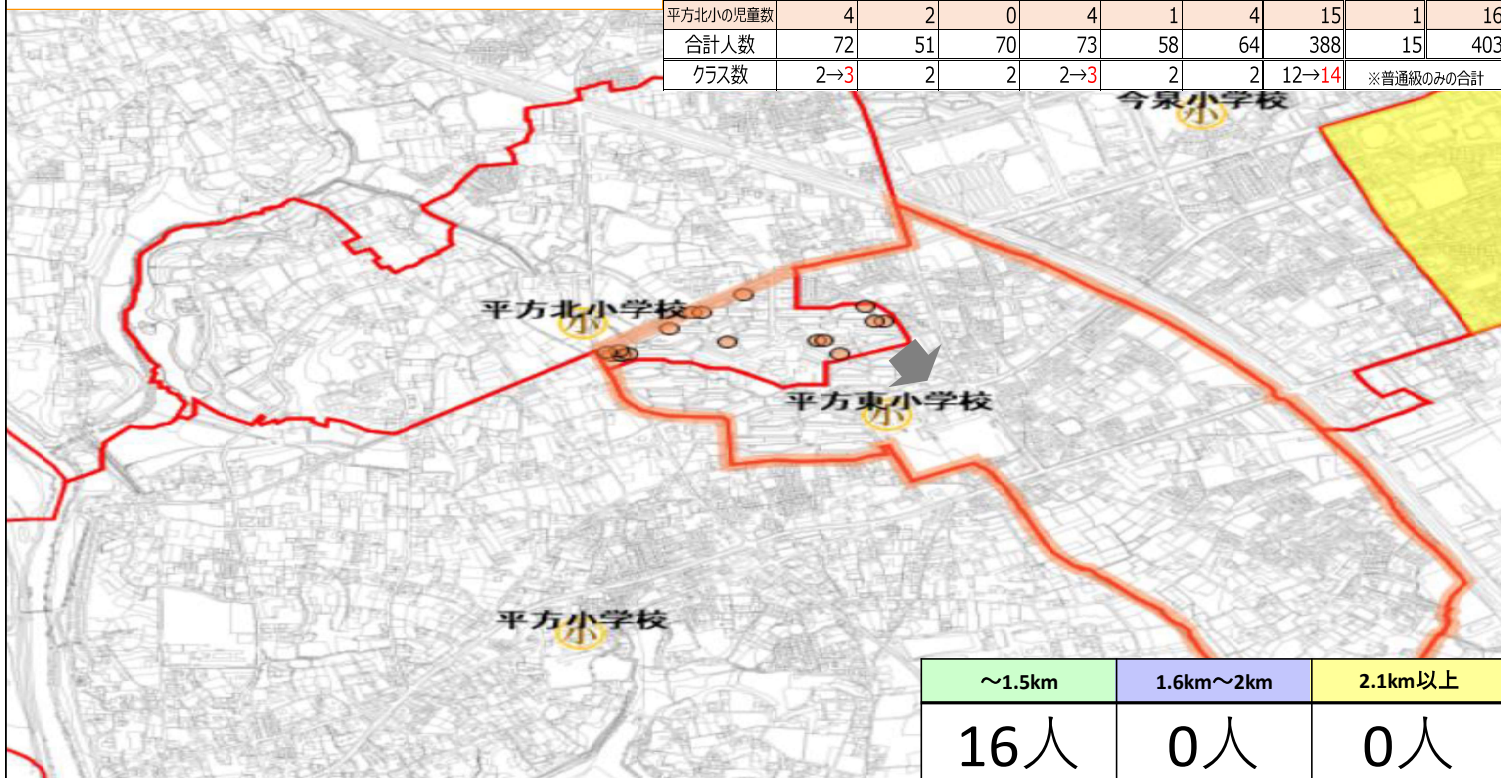
平方小の学区となる児童

平方小	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	特別支援	総計
現在の児童数	34	29	36	44	48	39	230	11	241
平方北小の児童数	2	1	3	5	5	4	20	1	21
合計人数	36	30	39	49	53	43	250	12	262
クラス数	1→2	1	2	2	2	2	10→11	※普通級のみの合計	



平方東小の学区となる児童

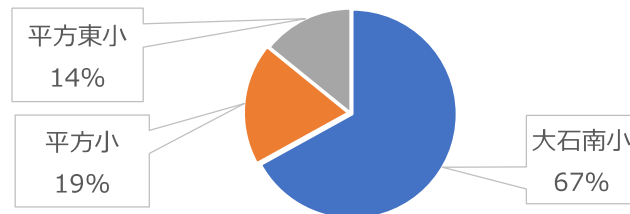
平方東小	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	特別支援	総計
現在の児童数	68	49	70	69	57	60	373	14	387
平方北小の児童数	4	2	0	4	1	4	15	1	16
合計人数	72	51	70	73	58	64	388	15	403
クラス数	2→3	2	2	2→3	2	2	12→14	※普通級のみの合計	



B 案 通学区域を分ける場合

平方北小の児童がB案の通り編入した場合（R7.5.1時点児童数）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	※特別支援を除く 合計※	特別支援	総計
平方小	在校生	34	29	36	44	48	39	230	11	241
	平方北小児童	2	1	3	5	5	4	20	1	21
	合計	36	30	39	49	53	43	250	12	262
	学級数	2	1	2	2	2	2	11		
大石南小	在校生	34	38	33	26	43	47	221	14	235
	平方北小児童	12	16	7	13	12	11	71	3	74
	合計	46	54	40	39	55	58	292	17	309
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		
平方東小	在校生	68	49	70	69	57	60	373	14	387
	平方北小児童	4	2	0	4	1	4	15	1	16
	合計	72	51	70	73	58	64	388	15	403
	学級数	3	2	2	3	2	2	14		



23

B 案 通学区域を分ける場合

平方北小の児童がB案の通り編入した場合の距離
（R7年度平方北小在校生）

	通学距離 (平均)	通学距離 (最大)	～1.5km	1.6km～ 2km	2.1km以上
大石南小	約1.24km	1.7km	69人	5人	0人
平方小	約1.18km	1.7km	19人	3人	0人
平方東小	約496m	600m	16人	0人	0人

【内訳】 大石南小 1.6km：4名 1.7km：1名
平方小 1.6km：2名 1.7km：1名

24

B 案 通学区域を分ける場合

メリット

- ・再編後は、進学先の中学校が分れない。
- ・大石南小が適正規模（12～18学級）となる。
- ・通学距離が長くなる児童が比較的少ない。

懸念点

- ・仲の良い友達と離れてしまう可能性がある。（在校生）
- ・平方小は小規模（6～11学級）のままである。

25

協議の内容

B 案 通学区域を分ける場合

【協議していただきたい内容】

再編手法における課題・懸案事項「①どこへ編入とするか」（事務局案の区分けについて）
「②通学距離が延びた際の通学方法」

【頂いた意見の概要】

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

26

【第6回 協議会の内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・平方北小学校の児童が他校へ編入する
- ・平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

③協議「いつ編入とするか」

27

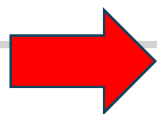
再編の時期について

①準備ができ次第、再編をする

数年後の年度初め(4月)に実施する方法

②6年間で段階的に再編する

新入生の入学を停止する方法



在校生の子どもたちに大きな影響がある。

②の手法の問題点

- (1)初年度は5学級で毎年学級数が減少し、最後は6年生の1学級のみとなり在校生の子どもたちに大きな影響がある。
- (2)在校生は平方北小、平方北小学区の新入生は、再編後の学校に通うことになる。
(きょうだいがいる場合、学校が分かれてしまう。)

28

再編の時期について

《委員の皆様へのアンケート》

設問

他校への児童の編入について検討する事項としては

①どの学校へ編入とするか

②いつ編入とするか

③編入に伴い通学距離が延びた際の通学方法

この三つを考えていますが、他にも検討したほうがいい点がありましたらご記入をお願いします。

意見

②は年度はじめ以外は考えにくいので他の項目をより重点的に検討したい。

29

協議の内容

【協議していただきたい内容】

再編手法における課題・懸案事項「③いつ編入とするか」

【頂いた意見の概要】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

30